

表題

「輸血班 WEB 研修会〈アンケート問題解答と質問回答〉」

表文

Web 研修会にご参加頂いた皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケートに出題しておりました問題への解答と、寄せられた質問についてイムコア 八木先生から回答頂きましたので情報提供させていただきます。

今後も皆様のご要望にそった形で研修会を開催できるよう企画していきたいと考えております。

しばらくは Web 形式が続くと思いますが、以前と変わらず、皆様と積極的に意見交換できることを楽しみにしております。

香川県臨床検査技師会 輸血研究班

## 香臨技 2020年度 第1回

### 輸血研究班・小施設分科会合同 WEB 研修会

この度は、ご参加いただきありがとうございます。

今後、より良い WEB 勉強会の運用を構築するため、ご意見をお聴きするためのアンケートを実施させていただいております。また、今回の講演内容から一部質問を設けさせていただきました。

①②の質問の答えを記入の上、2/3 (水) までにご返信ください。事前案内のとおり、このアンケート提出をもって参加実績とさせていただきます。ご協力宜しくお願い致します。

ご施設名	
お名前	
<p>① 問題 (香川県外部精度管理調査の結果解説と今後の評価方法について)</p> <p>来年度より不正解対象となり、検査結果を確定するために必要な方法を二つ挙げてください。</p> <p>答え：Rh コントロール、クームスコントロールの実施</p>	
<p>② 問題 (日常検査の疑問・相談 Q&amp;A～小施設分科会アンケートより～)</p> <p>不規則抗体検査において必ず実施すべき検査法を挙げて下さい</p> <p>答え：PEG または LISS を用いた間接抗グロブリン試験</p>	
<p>ご質問・ご意見・ご要望があればこちらに記入をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後の精度管理の評価方法について</li><li>・WEB 研修会について</li><li>・その他</li></ul>	

ご協力、ありがとうございました。

アンケート送付先： 回生病院 鬼松 幸子 (✉kensa@kaisei.or.jp)

① ガルサーブ AB を使用されている施設様、毒薬管理されているのでしょうか？

弊社、薬事担当者に確認したところ下記の回答がありました。

メーカーの SDS(添付 15 項)を拝見すると、毒物は含まれていますが、体外診断用医薬品のため、該当しないとあります。

これは、以下の「用語の定義 8」によります。

<https://www.pmda.go.jp/files/000197918.pdf>

つまり、カコジル酸ナトリウムそのものは毒物劇物取締法上の毒物に該当しますが、カコジル酸ナトリウムを含有する体外診断用医薬品は、毒物劇物取締法上の毒物に該当しません。

とはいえ、注意して管理するにこしたことはないです。

弊社製品ではない為、詳細は販売元へのご確認お願い致します。

② 妊婦検診にて、Rh陰性(D陰性確認試験(-))の場合、28週頃RhIGを予防的投与すると思いますが、1回検査ただけで投与はOKなのでしょうか。2重チェック???

異なるタイミングで 2 回検査し、RhD 陰性 と確定していれば OK と考えます。以前は RhIvIg 投与前に間接抗グロブリン試験によって反応しないことを確認する検査(ローブリンテスト)を実施していましたが今は実施していません。

③ コンピュータクロスは、Rh陰性は対象外と解釈していますが、OKですか。

最新の輸血学会の赤血球型検査ガイドラインには、条件や禁忌に RhD 陰性患者に対する詳細な記載がありませんので何とも解釈し難いところです。

ただし、製剤側の血液型チェックに『赤血球製剤の ABO 血液型の確認がされていること』としか記載がないということから、RhD 陰性患者の場合、コンピュータクロス対象外とする考えがよろしいのではと考えます。

しかしながら、RhD 陰性患者でも抗 D を保有していなければ 不規則抗体も陰性、交差適合試験で D 陽性の血液製剤と検査しても適合となってしまうこととなります。

システム上のチェック および 血液製剤の RhD 血液型の確認が適切に実施できれば、コンピュータクロスでもよろしいのではと考えます。